

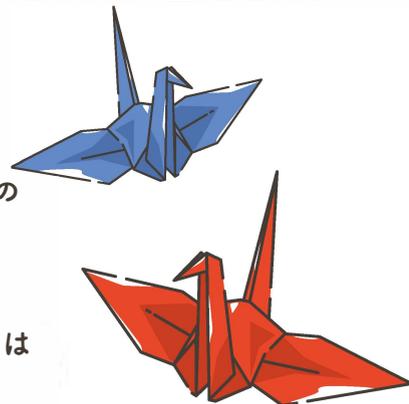
みよし市非核平和都市宣言

～核兵器の廃絶と恒久平和の実現を目指して～

総務課 ☎32-8000 FAX 32-2165

恒久平和に向けた取り組みを行っていくのは私達の責任です。

日本では戦後77年が経過し、戦争を知らない世代が増え、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさが風化されつつあります。また世界ではロシアによるウクライナへの軍事侵攻や核兵器使用の威嚇が行われ、不安定な世界情勢を招いています。



このような状況で、市民の皆さんに核兵器のない世界について考えていただくことは非常に重要なことであり、また核兵器のない世界に一步でも近づくことができるよう、行動しなければならないと考えています。

市では平成22(2010)年6月11日に、市としての平和に対する態度を明らかにするため、みよし市議会の議決を経て「みよし市平和都市宣言」を行いました。

このたび、より強い決意で核兵器廃絶と恒久平和を実現させるため「みよし市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、新たに「みよし市非核平和都市宣言」を行いました。

みよし市非核平和都市宣言

核兵器のない世界と恒久平和は、私たち人類共通の願いです。

わが国は核兵器による攻撃を受けた唯一の国家であり、私たちは、非核三原則を掲げ、核兵器廃絶を全世界に訴え続けていかなければなりません。核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、考え、語り、戦争で犠牲になった方々の想いと共に後世へ引き継いでいくことは私たちの使命です。

戦争から年月が経過し、核兵器と戦争を現実として体験された方が年々減る中、核兵器と戦争の記憶を風化させ、惨禍を二度と繰り返すことがあってはなりません。

みよし市は、日本国憲法に基づいて、世界平和を願うすべての国の人々と手を携え、強い決意で、核兵器のない世界と恒久平和を実現するため「非核平和都市」を宣言します。

令和4(2022)年9月29日

愛知県みよし市



みよし市非核平和都市宣言記念事業



非核平和都市宣言を記念して以下の事業を実施します。

戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、改めて考える機会にさせていただくため、ご来場ください。

被爆体験伝承講話会

① 中学生による「みよし市非核平和都市宣言」の読み上げ
中学生による「宣言文」の読み上げを行います。

② 中学生による広島派遣報告
中学生平和学習広島派遣事業の派遣団が広島派遣の報告をします。

③ 被爆体験伝承講話
国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から被爆体験伝承者をお招きし、被爆者から受け継いだ被爆体験や平和への思い、被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被爆の概要、原爆の人体への影響など）をお話いただきます。

日時 10月30日(日) 14:00~16:00

場所 カネヨシプレイス(旧サンアート)
レセプションホール



特別展示(戦争に関する資料、パネル、図書の展示)

① 資料の展示(1階ロビー)
空襲の被害の大きさを伝える資料をはじめ、防空のための資料や空襲の被害を証明する資料を展示します。

② パネルの展示(1階情報コーナー)
広島平和記念資料館からお借りした、広島・長崎の原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについて、写真や図表を用いて分かりやすく説明してあるパネルを展示します。

③ 図書の展示(1階特設コーナー)
戦争や平和に関する図書の紹介コーナーを設置します。

④ サテライト展示(みよし市歴史民俗資料館)
サンライズでの展示期間中、歴史民俗資料館でも戦時中用品のミニ展示を行います。



期間 10月4日(火)▶
11月6日(日)

場所 サンライズ

戦争の記憶を今に伝える

～大覚寺の「鳴らざる鐘」～

打越町にある大覚寺にはコンクリート製の釣り鐘(鳴らざるの鐘)があります。これは第二次世界大戦中の「金属類回収令」により供出された梵鐘の代わりに鐘楼堂のバランスを保つため作製されたものです。現在は金属製の釣り鐘に取り替えられましたが、鳴らざるの鐘は今でも境内に残されています。平和への思いを胸に、みよしの戦争遺品をぜひご覧ください。

